

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成18年10月5日(2006.10.5)

【公開番号】特開2005-92737(P2005-92737A)

【公開日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【年通号数】公開・登録公報2005-014

【出願番号】特願2003-328209(P2003-328209)

【国際特許分類】

G 06 T 1/60 (2006.01)

B 41 J 5/30 (2006.01)

G 06 F 3/12 (2006.01)

G 06 T 1/20 (2006.01)

【F I】

G 06 T 1/60 450 F

B 41 J 5/30 Z

G 06 F 3/12 A

G 06 T 1/20 C

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月18日(2006.8.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記憶手段と、

画像データを前記記憶手段へ書き込む書き込み手段であって、処理単位となる画像データ毎に固有の記憶領域を割り当てて前記記憶手段へ書き込む書き込み手段と、

前記書き込み手段により割り当てられた記憶領域に格納されている画像データに一連の処理を予め定められた順に施す画像処理手段であって、各処理の実行過程において、該画像データを所定の画像データ単位づつ読み出し、各処理毎に固有のアルゴリズムにしたがって処理する画像処理手段と

を有する画像処理装置。

【請求項2】

前記画像処理手段は、前記各処理の実行過程において、前記書き込み手段により割り当てられた記憶領域に格納されている画像データを解析し、その画像データに対応する画像の特徴を表す特徴量を算出し、その算出結果にしたがって前記画像データ単位を加工することを特徴とする請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項3】

前記各処理の実行前後で前記画像データ単位の大きさが変化しないことを特徴とする請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項4】

請求項1に記載の画像処理装置を含むことを特徴とする画像形成装置。

【請求項5】

コンピュータ装置に、
処理単位となる画像データ毎に固有の記憶領域を割り当てて該コンピュータ装置に記憶

する記憶機能と、

前記記憶機能により割り当てられた記憶領域に格納されている画像データに一連の処理を予め定められた順に施す画像処理機能であって、各処理の実行過程において、該画像データを所定の画像データ単位づつ読み出し、各処理毎に固有のアルゴリズムにしたがって処理する画像処理機能と

を実現させるプログラム。